



昭和百年を迎えて思うこと

私たちにとって、“幸福の条件”とは何なのでしょうか？

「降る雪や明治は遠くなりけり」とは愛媛に縁のある俳人、中村 草田男の有名な俳句です。この句が詠まれたのは昭和6年、作者が30歳の頃に母校の小学校を訪れた際に、時代の変化と自分を重ね合わせ、その際の感慨を表したものとされています。

元号が二つ替わってしまうと時代感覚は大きく隔たると感じてきました。自分が働き始めた頃には、明治生まれの人たちが公民館に大勢来ていました。明治人には昭和人とは違う気骨を感じたことを思い出します。今年は昭和で言うところの100年、一世紀になる年です。皆さんの多くは三つの元号を生き抜き、いま令和の時代を生きています。その間、幾たびかの戦争もあり、大災害にも見舞われてきました。また、高度経済成長期には急激に右肩上がりに成長する社会の中で、坂の上の雲を目指して頑張ってきた方も大勢いるはずです。

博報堂100年生活者研究所が今年4月29日(昭和の日)に、この100年間の日本人の幸福度や価値観がどのように変化してきたかを調査した結果を公表しました。その内容が興味深かったので共有します。ちなみに昭和元年はクリスマスから大晦日までの一週間足らずで終わります。昭和2年には、初めて甲子園大会のラジオ中継が始まり、アメリカから青い目の人形が全国の小学校に配布され、東京の上野～浅草間で日本初の地下鉄が開業したそうです。モダンボーイ・モダンガールなるものが流行した時代で、金融恐慌や戦争の足音も聞こえる中、昭和という新しい時代を迎え、人々が逞しく生きていたそんな時代だったのです。

その当時の日本人が、幸福の条件として何を重視していたかというと、6割以上の方が「家族のつながり」を挙げていました。その次に来るのが「仕事の充実」で27%、以下「経済的な安定」、「健康的な生活」と続きます。また、当時の日本人の幸福度は10点満点で4.49点でした。その後、暗い戦争の時代を経て、戦後は復興、さらに高度成長時代という流れに乗って幸福度は6.2点まで上昇していきます。そして、その間社会はがむしゃらに働くことに流れ、幸福の条件もいつの間にか「家族のつながり」から「仕事の充実」へと転じていきます。そして、昭和60年代には、「経済的な安定」にこそが幸せと感じる時代を迎えます。でもそれは長続きせず、平成5年のバブル崩壊以降失われた30年で変化し、みんなの共通感覚としての幸福が見えない時代になってきます。

令和になった現在、みんなが幸福と感じる一番の条件は、「多様性」「自分らしさ」だそうです。昭和の頃には誰も考えなかった価値観が一番になりました。「仕事の充実」は最下位に転じ、それに替わって「柔軟な働き方」が3番目になります。昭和の頃は最優先だった「家族のつながり」は下から2番目に転落しています。確かに家族の形態は大家族から核家族、さらには単独も増加し、その影響が顕著に現れているのでしょう。この調査では、これから20年間も同様の傾向が続くと予測されています。まさに、「昭和は遠くなりけり」を実感します。

こんな今だからこそ、単に過去への郷愁を辿るだけではなく、これまでの良かったこと辛かったことを振り返り、今後の行方を共に語り合ってみる、そんな学習が必要ではないかと考え、次年度の講座企画を練っています。その講座では、この百年間を生きてきた皆さんに時代の語り部となっただき、様々な人生の物語を振り返りながら、未来を描いていけたらと考えています。その際はご協力のほど、どうかよろしくお願い致します。(関)

(今回引用させていただいた情報は、博報堂100年生活者研究所のホームページで詳細を閲覧できます。興味のある方はぜひご覧下さい。)



学んでマナビ「迷いと悟りを考える」

はじめての講師体験で学んだこと

鵜川 文男



今回、「悟りと迷いを考える」というテーマで、皆さんと一緒に学び合う時間を持てたことは私にとって本当に新鮮な出来事でした。自分が考えていたことを誰かに伝えることの難しさや、ご意見を聴かせていただけることの有難さを感じました。改めて、講師初体験の私の拙い話を聞いて下さった受講生の皆様に心から感謝申し上げます。

一番の学びとは、自分が学んだことや考えてきたことを誰かに語ることだと聞いたことがあります。今回の私は怖いもの知らずで、頭に浮かんだことを全部伝えたいという気持ちばかりが勝り雑駁な話になってしまったことや、個人的な体験談が長くなりすぎてしまったことなど反省することばかりでした。アンケートを拝見すると、社交辞令も含め、多くのご指摘をいただき、改めて勉強になったなと感じたものです。

私が今回「迷いと悟りを考える」というテーマを掲げた理由ですが、今はまさに先行きが見えない時代、世界各地で争いが絶えず、果たして何を頼りに生きていけば良いのかを見失いがちです。そんな時代だからこそ、

- ①地球上のすべて生命は、共存しながら繋がっていること
- ②自分で生きているのでは無く、自然とすべての生命に生かされていること
- ③人生は、無常の中に生きていること

これら三点を「悟り」として、皆さんに受け取って欲しかったのです。でも「私自身が、どれ程判っているの？」という疑問はずっと頭から離れませんでした。また同時に誰かが私を受け止めてくれることの愉しさを感じたのです。

さらに今回の講座後、何名かの方からまたやって欲しいという声を頂きました。お調子乗りの私は早速、次の講座を開きたいとセンターに話に行きました。その結果、同好の士が集まって、語り合う自主的な講座をやってみればという嬉しいアドバイスをもらいました。

アンケートの意見の中に、「正義は見方によって入れ替わるという」というものがありました。今の朝ドラ「アンパン」のやなせたかしさんもアンパンマンを通じて同じようなことを言っていました。彼は、戦争体験を通じて正義が逆転することを知り、それでも傷つくことを恐れずに、献身的に変わらない「正義」を探して行動していくことが大切だと説かれていました。

これを拾って、次回は「人は、なぜ争うのか？」をテーマにした語り場を下記の日程で開催したいと思います。お茶しながら、一問一答形式で自由に話し合ひましょう。時間が許せば、私のハーモニカも聞いてほしいなと思っています。興味のある方、ぜひご参加下さい。たのしい一時を過ごしましょう。

日 時 令和7年10月14日（火曜日）9時30分～11時30分

場 所 生涯学習センター第1研修室（文化センター本館2階）

申込み 下記宛に 氏名・住所・電話・年齢を書いてお申し込み下さい

宛 先 鵜川 文男

メール ugawa_4696@yahoo.co.jp

電 話 080-3163-9621

「心をつなぐオカリナ」

藤田 幾代

No.50
私の生涯学習

「楽器をならして楽しみたいね」「優しい音色のオカリナがいいなあ」「オカリナが上手な〇〇さんがいるじゃない、教えてもらおうよ・・・」とこんな雑談の中で「ハッピー・オカリナ」が誕生したのは20年前のこと。ギターやキーボードに合わせながらハ長調曲を中心に20名余りのメンバーで月2回レッスンが始まった。今では調号（＃・♭）がある中級程度の曲をなんとか、初見で吹けるようになり、四重奏の曲にもチャレンジしてハーモニカを楽しんでいる。

ここで「ハッピー・オカリナ」継続の秘訣を整理してみよう

①基礎的な吹き方を丁寧に指導！

- ・呼吸法・音楽用語・記号・曲想を踏まえて・歌うように
- ・できた喜びや楽しさを実感しながら、継続的な練習を

②楽しく共感し合える仲間づくり！

春には桜の下で、秋にはミカン狩りの後、輪になって野外レッスン

徳島〔第九〕のドイツ館・祖谷溪めぐり・高知城、琴平等々 年1回の小旅行

③練習の成果発表を通して、演奏技能の向上へ！

発足以来、毎年「修業のつどい」に参加。10周年にはプラチナガーデンホール、16周年にはワクリエ新居浜で独奏・グループ奏の発表

また介護施設や公民館行事等の要請があれば積極的に出かけ演奏する。その合間に肩たたき・お手玉遊び・フラダンス等々共に楽しむボランティア活動

2年前のこと生涯学習大学の共催のもとあかがねミュージアムで「オカリナふれあいコンサート2023」を開催した。ミカンの花咲く丘・瑠璃色の地球・UFO・365日の紙飛行機などタイムリーな曲を披露。憧れの大舞台上、最高の仲間と演奏し合え、「心の宝物」になったと喜び合った。

さて、ステップアップ活動の趣旨は「自己を向上させ、仲間の輪を広げ、人生を実りあるものにする自主活動」である。12月には20周年行事を計画しているが、趣旨をしっかりと踏まえて、一步一步前進していきたい。

このように、長く続けられるのも職員の皆様の多大な協力のお陰と感謝の念で一杯である。





講座カレンダー



予定のご確認を...

※警報や災害・講師の都合などで
日程を変更することがあります。

日	曜	講座名	回	テーマ	時間	場所
1	月	◎これからのまちづくり	1	まちづくりに大切なことを考える	13:30	生涯学習センター研修室
2	火	M・花づくり	1	種から育てる花づくり	10:00	生涯学習センター研修室
		絵本セラピー	3	なんとかなるさ	13:30	生涯学習センター研修室
3	水	◎新・雑談しま専科	4	お口から始まる健康づくり	9:30	生涯学習センター研修室
		賢い生活者になるため	3	悪徳商法・振り込め詐欺にご用心！	13:30	生涯学習センター研修室
5	金	M・臨床美術	1	臨床美術 夜景を描く	10:00	生涯学習センター研修室
6	土	新居浜高専市民講座	4	導電性高分子の研究とバドミントン選手・監督としての活動	9:30	新居浜高専視聴覚教室
		松山大学公開講座	5	ご近所付き合いと裁判	13:30	生涯学習センター研修室
8	月	◎人間学講座「無門関」	4	無門関講読	9:30	生涯学習センター研修室
9	火	自然探訪	1	観察の手ほどき	10:00	生涯学習センター研修室
		超入門ハングル講座	6	読んでみよう、書いてみよう④	14:00	生涯学習センター研修室
10	水	◎懐かしの心の唄講座	3	時代が生んだ懐かしい歌を唄う	10:00	文セン別館中ホール
		医学講座	3	皮膚の健康を勉強しませんか	14:00	文セン別館視聴覚教室
11	木	科学博物館講座	4	ニホンカワウソのはなし	10:00	科学博物館第1研修室
12	金	健康長寿の秘訣①	3	「今の暮らしを続けたい」を叶えるために	13:30	生涯学習センター研修室
17	水	しあわせ学入門	1	人生のよい側面に目を向けることの意味とは	13:30	生涯学習センター研修室
18	木	俳句（自主講座）	1	俳句について	13:30	生涯学習センター研修室
19	金	メンズ・キッチン	2	秋：旬の秋鮭を使った料理	10:00	ふれあい調理実習室
20	土	松山大学公開講座	6	寄せ場とホームレス問題	13:30	生涯学習センター研修室
22	月	健康長寿の秘訣②	3	「今の暮らしを続けたい」を叶えるために	13:30	生涯学習センター研修室
24	水	別子銅山の歴史（初級）	3	煙害問題	10:00	生涯学習センター研修室
25	木	別子銅山の歴史（上級）	3	立川銅山道考	10:00	生涯学習センター研修室
26	金	これからのまちづくり	2	公民館と地域づくり活動センター	7:30	現地
29	月	◎アフリカ理解・国際交流	1	アフリカ料理にチャレンジ！	10:00	ふれあい調理実習室
30	火	◎へんろ学と郷土物語	3	常夜燈の事	9:30	生涯学習センター研修室
		書道教室	5	手紙文・一文字書き	13:30	生涯学習センター研修室

※◎がついている講座は聴講可能講座です。